

## Ⅱ 令和6年度研究事業について

### 1 所員・長研生の研究について

#### (1) 所員研究

No	研究主題名（令和5年12月21日現在）	担当室
1 本庁 依頼	【高等学校】※通級による指導実施校を除く 高等学校における校内支援体制の充実に関する研究 —特別な支援を必要とする生徒を含む集団への多層的な支援を通して—	教育支援相談
2	【中学校・高等学校】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関する研究 —主体的に学習に取り組む「問い」と「環境」の設定を通して—	教科領域教育 理科教育
3	【中学校技術・家庭科技術分野】 探究活動と創造活動の往還を通してニーズとシーズのマッチングを図る中学校技術科の材料と加工の技術による問題解決の授業開発と実践 評価	情報・産業教育

#### (2) 長期研修生

No	研究主題名（令和5年12月21日現在）	担当室
1 本庁 依頼	【幼保小接続】 幼児期からの学びをつなぐ小学校第1学年生活科の授業改善 —発達や学びの接続の理解を深める保育体験を通して—	教科領域教育
2	【小学校理科】 小学校第6学年「より妥当な考えをつくり出す力」を育成する理科授業の在り方に関する研究 —理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して—	理科教育

### 2 全教連課題公募研究（採択決定）

#### (1) 応募テーマ

「研修観」の転換を通じた新たな教師の学びの実現に向けた教育センターの在り方

#### (2) 応募研究課題名

新たな教師の学びの実現に向けた教育センターの在り方

—これまでの研修システムの総括と新たな研修モデルの構築を通して—

#### (3) 研究の目的

本県では教員等育成指標に基づいた研修体系の中に、免許状更新に係る講習を位置づけ、教員の学びの継続を保障する研修講座を提供してきた。令和4年5月に公布された「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」により、普通免許状及び特別免許状の更新制に関する規定が削除されたこと、研修記録の作成及び資質向上に関する指導助言等が明記されたことにより、研修体系と内容の見直しが急務である。

本県では、令和4年度に研修体系の見直しを図り、従前の免許更新講習該当年にキャリア・ライフステージに応じたステージアップ研修を設定した。令和5年度の成果の課題を検証し、更なる研修内容の充実を図っていく。

一方、各講座については、喫緊の教育課題や学習指導要領に応じて、センター内外の講師によって研修講座を組み立て、教科等のスキルアップを目指した研修を提供している。しかしながら、自ら研究と修養に励む意識には必ずしもつながっていない。当センターでは、平成25年度より初任

から3年目までの教員を対象に、個々の教員がメタ認知に基づいてテーマ設定を行い継続的に研修する「自己研修の進め方」という研修講座を設定している。このプログラムをブラッシュアップすることで、教員が生涯を通じて主体的に学び続ける意識を養い、教師同士の学び合いにつながるものと考えている。

また、この研修を土台とし、キャリア・ライフステージ（40代、50代）に応じた研修講座の中にも個々の課題に応じた「テーマ研修」の充実を図り、自ら学び続ける教師をバックアップする研修体系の確立することを目的とする。

### 3 令和6年度岩手県教育研究発表会

#### (1) 期日

令和7年2月5日（水） 6日（木） 7日（金）

#### (2) 会場

岩手県立総合教育センター

岩手県立生涯学習推進センター

#### (3) 研究発表会テーマ

夢の実現に向けて自ら学び行動する岩手の子ども  
～指導と評価の一体化で育成する確かな学力～

#### <テーマの設定理由>

岩手県教育委員会が策定した「岩手県教育振興計画」では、基本目標を「学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり」としています。また、学校教育において目指す姿を「子どもたちが、地域とともにある学校において自ら生き生きと学び、夢を持ち、それぞれの人間形成と自己実現に向けて知・徳・体のバランスのとれた『生きる力』を身に付けています。」としています。この「生きる力」を知の側面から捉えた要素の一つ「確かな学力」は、知識技能のみならず、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたものを指します。

この「確かな学力」は、子どもたちが日常の学びを通して主体的に資質・能力を磨くことで育成されるものであり、その実現には、子どもたち一人一人の学習状況や変容を細かに観察し、

「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を継続していくこと、すなわち「指導と評価の一体化」が欠かせません。私たちには、子どもに寄り添い、その成長を確かめながら、指導の質をより高めていくための工夫を不断に行うことが求められています。

本発表会を、本県教育が育成を目指す子どもの姿を共有するとともに、これまで私たちが積み上げてきた教育実践を省察し、よりよい授業改善に向けて踏み出す契機とするため、上記のテーマとしました。

なお、上記テーマは令和10年度まで共通のテーマとする予定です。今後、各学校、教育機関においては、数年先までの見通しを持った研究、教育実践を行い、本発表会でその成果を広く周知いただきたいと思います。

#### (4) 内容

- ・講演講師等は令和6年3月に所長協議で決定する。
- ・設置分科会等、内容の詳細は、令和6年4月以降に本庁との協議を経て決定する。

# 自己研修の進め方

## 自己研修のプロセス

## 確認しておく事項

### 現状把握

- 学習指導や生徒指導、学級経営で、順調に進んでいる点、問題点は何ですか。

## Plan

### 自己研修の テーマ設定

- 学習指導や生徒指導、学級経営の問題点から、どのようなテーマを設定しますか。
- 自分の理想とする指導と現在の状況を比べ、どのようなテーマを設定しますか。

### テーマの明確化

- 自分の設定したテーマにはどのような原因や要因がありますか。  
(指導力、周りの児童生徒との関わり方や実態など)

### 情報収集 予備調査

- 文献や書物などで、どのような内容を調べ、明らかにしたいですか。
- 質問紙を利用した、児童生徒の意識調査や各種テストで、どのようなことを明らかにしたいですか。

### 方法や手立ての立案

- テーマの目標を達成するためには、どのような指導を行えば効果があると思いますか。

### 児童生徒の ゴール像設定

- テーマの目標達成後の児童生徒の姿がはっきりとイメージできていますか。

### 計画立案

- どのような指導を計画しますか(短期か長期か、どのような内容か。)
- 実施前、実施中、実施後に進めなければならないことは何ですか。

## Do

### 実践

- 計画を基に、無理なく実施できていますか。
- 実施の様子を他の教員に見てもらい、客観的な意見や指導をいただきましょう。

## Check

### 結果の分析

- 自分の理想とする児童生徒像へどれだけ近づくことができましたか。

### 振り返り 実践交流

- 自己研修のテーマ設定から結果の分析及び考察までを振り返り、効果があったことを簡潔にまとめましょう。
- これまでの実践から、明らかになった点、次に課題と思われる点は何ですか。
- 振り返りをもとに他の先生方等と交流し、どのような新たな手立てや問題点を得ることができましたか。

## Action

### 改善

- 発見した新たな手立てや問題点から、次の自己研修へどのように取り組むか設定しましょう。





月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
9月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木				
			幼稚園等初任「センターⅡ」							高等学校教科専門「国語」(集合orライブ)						敬老の日		感情コントロールの力を育てる教師のかかわり		コンクール		秋分の日		振替休日											中学校教職経験者5年		
			実践組織マネジメント							高等学校教科専門「家庭」																									教職経験者5年(養護教諭)		
			高等学校教科専門「物理」							高等学校教科専門「化学」																									教職経験者5年(栄養教諭)		
			高等学校教科専門「情報」							現地に学ぶ地学																										教職経験者5年(栄養教諭)	
			教育相談コーディネーターフォローアップⅡ							高等学校教科専門「生物」																											
										養護教諭 現代的健康課題 対応力向上																											

